

12/29
南日本新聞

全国高校選抜年内開催競技

高校生スポーツの2023年度全国選抜大会は来春の集中開催を前に、23日から弓道とホッケーがある。大舞台で活躍を誓う郷土の代表を紹介する。

川薩清修館が4強以上狙う

ホッケー男子

(23)27日・東京都の大井ホッケー競技場ほか
2年連続で出場するホッケー男子の川薩清修館は、カウンターで得点を狙う



「堅守速攻」を武器に4強以上を目指す。1回戦の立命館(京都)戦に対して、原口淳一監督は「ロースコアの展開にしたい」と話す。

吉岡は状況判断能力に優れ、前原はパス精度が高い。両サイドバックの片平や兒玉は粘り強い守備が特長で心強い存在だ。GK長沼は安定感がある。

FW富田は突破力が持ち味で、地元国体でも得点を挙げた。スピードのあるMF伊地知も果敢にゴールを狙う。吉岡主将は「苦しい戦いも乗り越えてきたので、自信をもって臨みたい」と意気込む。(今村清太郎)

【男子】川薩清修館 原口淳一監督、長沼吉洋、前原翔夢、片平志、吉岡澤志、兒玉晟弥、伊地知晃、鶴田響也、新森晃聖、富田琉都、宇都楓真、山下航世、福山頌

2年連続で全国高校選抜ホッケー大会に出場する男子の川薩清修館

伊集院初出場 鹿工2年連続

弓道

(23)25日・東京武道館 特設弓道場

団体は女子の伊集院が初出場、男子の鹿兒島工が2年連続で挑む。

伊集院は、責任感の強い有水主将、基本を大切にする岩崎、堂々と矢を放てる中道が出場する。それぞれ全員で力を補い合うチーム

ワークが武器だ。3人中少なくとも2人が的中できるように練習を重ねた。個性派ぞろいの鹿工は、出だしの安定感が鍵を握りそう。チームで一番練習熱心な石原主将は、中学のときからの悪い癖を克服しつつある。馬場は射形が美しく、高校で始めた溝口は成長著しい。(村上隼)

【女子】伊集院 内田大介監督、岩崎衣代、有水もえ、中道真凜、東奈央、加治木工二小倉潤監督、藤山陽名詩

【男子】鹿兒島工 福富文明監督、溝口南稀、石原悠大、馬場陵平、山元颯真、樟南 奥津孝洋監督、鎌田修榮、甲南 川越康司監督、中島琉希